



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

2017年度 大学院デザイン研究科 博士後期課程

横断型連携特別演習 最終成果発表会

2017年12月2日(土) 15:00 ~ 16:45

札幌市立大学サテライトキャンパス(アスティ45 12階)

《プログラム》

●開会挨拶 15:00 ~ 15:05 デザイン研究科長 城間 祥之

●成果発表(20分/1題)・ディスカッション(25分/1題)

① 15:05 ~ 15:50 及川 雅稔(人間情報デザイン分野)

地域中小企業のデザインマネジメント支援手法に関する研究
〈デザインマネジメント活動を捉えるフレームの探索〉

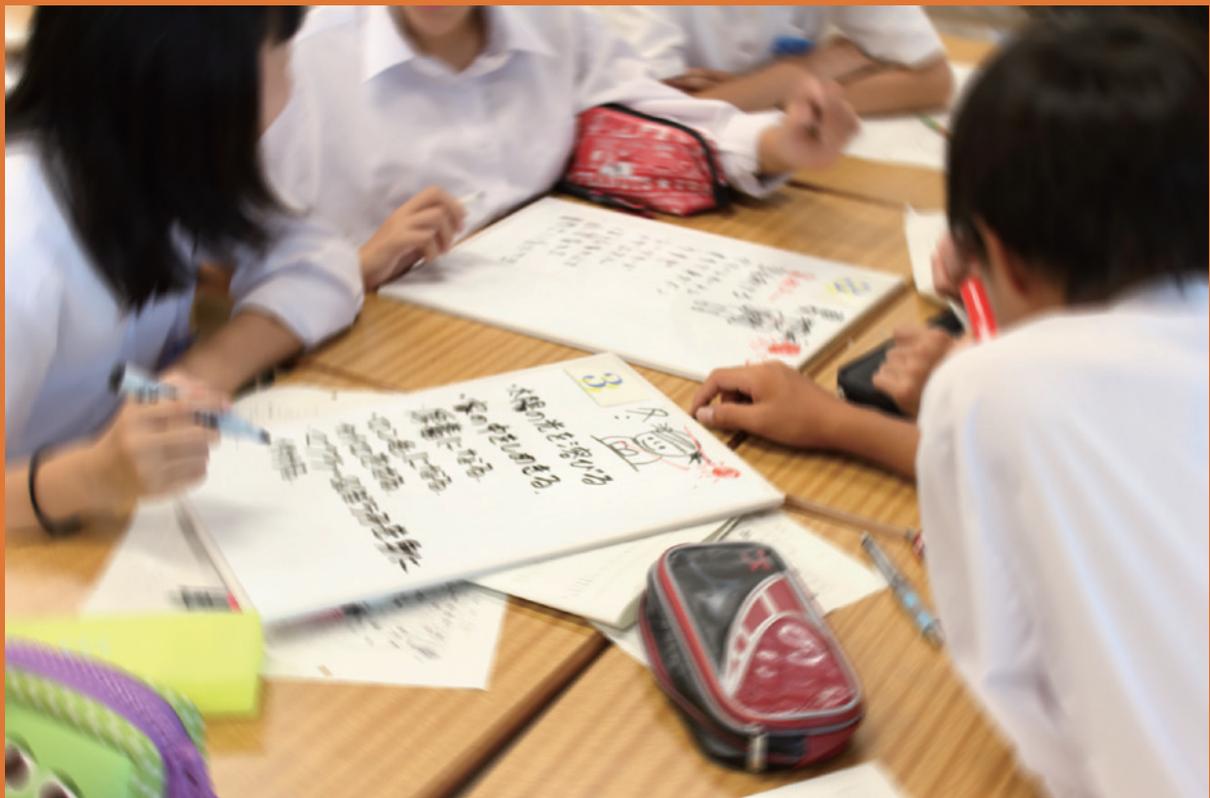
担当教員：柿山 浩一郎 准教授・山田 良 准教授

② 15:50 ~ 16:35 廣谷 純子(人間空間デザイン分野)

人の環境適応を引き出す働きかけのデザインと評価に関する研究

担当教員：町田 佳世子 教授・山田 信博 准教授

●閉会挨拶 16:35 ~ 16:45 札幌市立大学 学長 蓮見 孝



平成29年度 札幌市立大学大学院デザイン研究科（博士後期課程）

横断型連携特別演習 最終成果発表会 プログラム

平成29年12月2日（土）15：00～16：45
サテライトキャンパス 大会議室

1. 開会の挨拶（15:00～15:05）デザイン研究科長 城間祥之

2. 成果発表

1 発表につき、発表20分+ディスカッション25分=45分間

予定時刻	発表題目／概要		グループ（発表学生1名+担当教員2名）
15:05 ） 15:50	題目	地域中小企業のデザインマネジメント支援手法に関する研究 〈デザインマネジメント活動を捉えるフレームの探索〉	デザイン研究科 人間情報デザイン分野 及川 雅稔（発表者）
	概要	デザイン導入・活用段階にある地域中小企業等が、現状のデザインマネジメント活動の盲点や課題を認識し、より効果的な取組に関する知識を得られるよう支援するためのツール等の提案に向けた研究に着手している。この研究の一部として、デザインマネジメント活動を捉えるフレームの探索を目的に、先行研究等の調査、及び中小企業支援において経験豊富なデザイン事業者へのヒアリング調査を実施したので、その結果について報告する。	デザイン研究科 人間情報デザイン分野 柿山 浩一郎 准教授
			デザイン研究科 人間空間デザイン分野 山田 良 准教授
15:50 ） 16:35	題目	人の環境適応を引き出す働きかけのデザインと評価に関する研究	デザイン研究科 人間空間デザイン分野 廣谷 純子（発表者）
	概要	本研究では、パッシブ・アクティブ技術が混在した環境建築において、環境に応じて自ら選択して快適性が得られるようになるための働きかけについての研究を行う。働きかけとしては、「今この環境を何℃と思うか」という想像温度と、教育・ポスター等がある。本年度は、エコスクール中学校を対象として、9月の教室の寒暑感や行動、想像温度を確認し、人が熱環境に適応するプロセスの解明と、住教育による意識の変化を確認した。	デザイン研究科 連携教育担当 町田 佳世子 教授
			デザイン研究科 人間空間デザイン分野 山田 信博 准教授

3 閉会にあたって（16:35～16:45）学長 蓮見 孝